

2026年3月期（第16期） 中間期決算説明資料

2025.10.24

テクノホライゾン株式会社
代表取締役社長 野村拡伸



テクノホライゾン株式会社

目次

1. 2026年3月期（第16期）中間期決算概要
2. 2026年3月期（第16期）通期業績予想
3. トピックス

1. 2026年3月期（第16期） 中間期決算概要

(1) 2026年3月期 損益サマリー

単位：百万円

	2025年 3月期 中間期	2026年 3月期 中間期	増減	増減率
売上高	23,503	22,871	△ 632	-2.7%
映像&IT	16,413	16,669	+ 256	1.6%
ロボティクス	7,090	6,201	△ 889	-12.5%
営業利益	148	891	+ 743	500.8%
経常利益	△ 6	980	+ 986	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△ 276	457	+ 733	—

前年同期実績比
減収増益

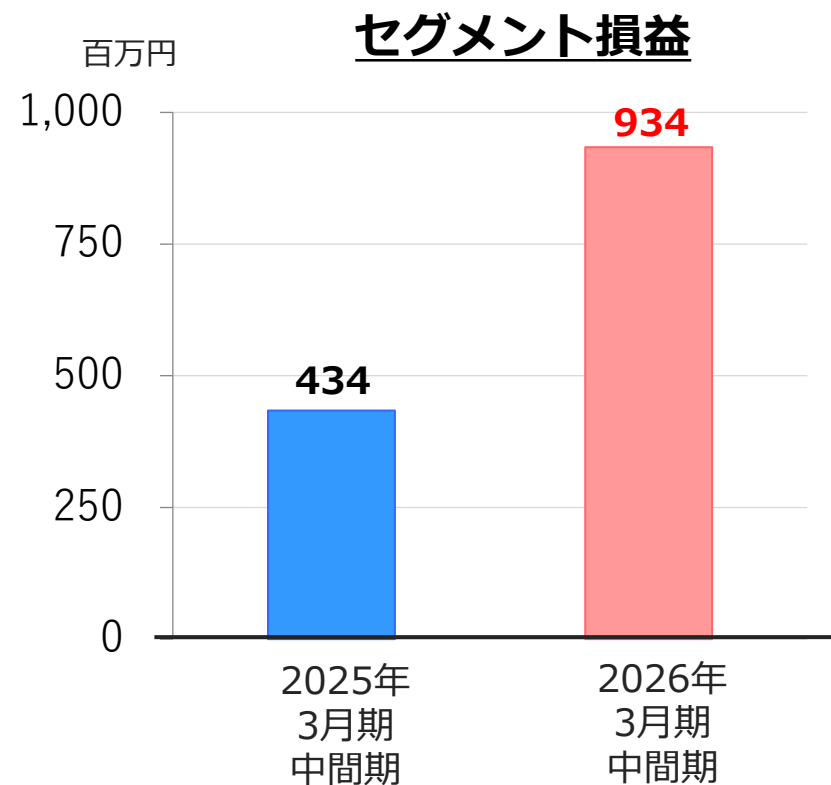
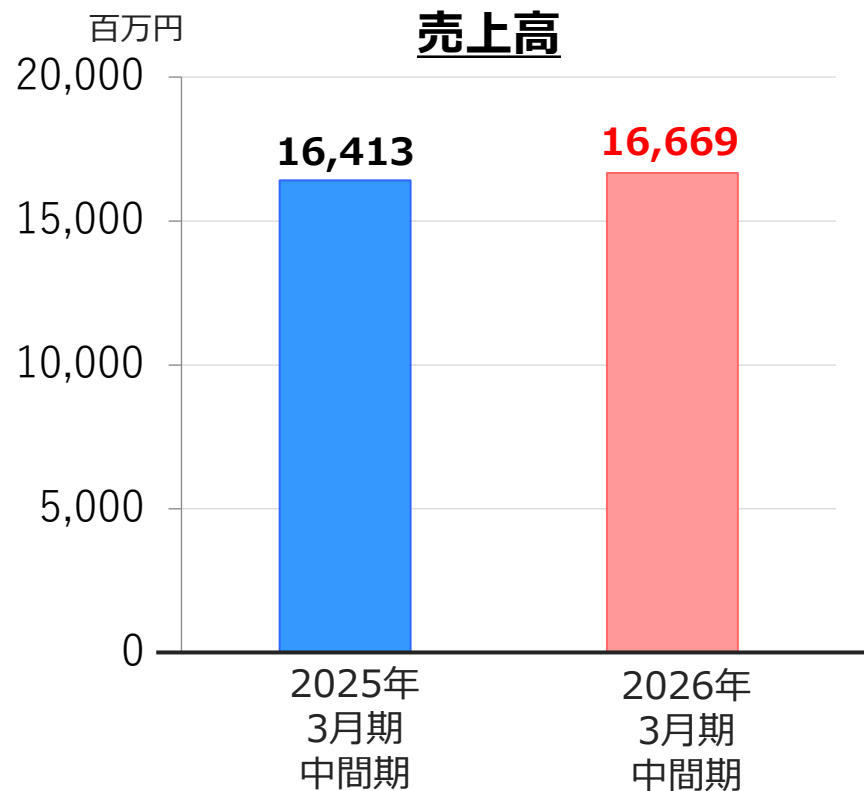
減収要因：

- ・「ロボティクス事業」減収

増益要因：

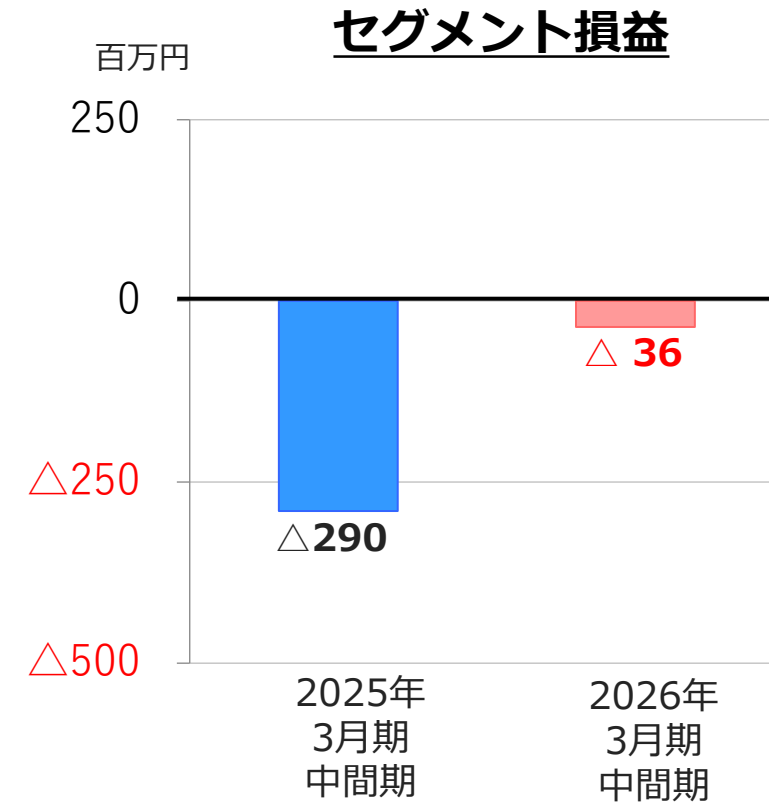
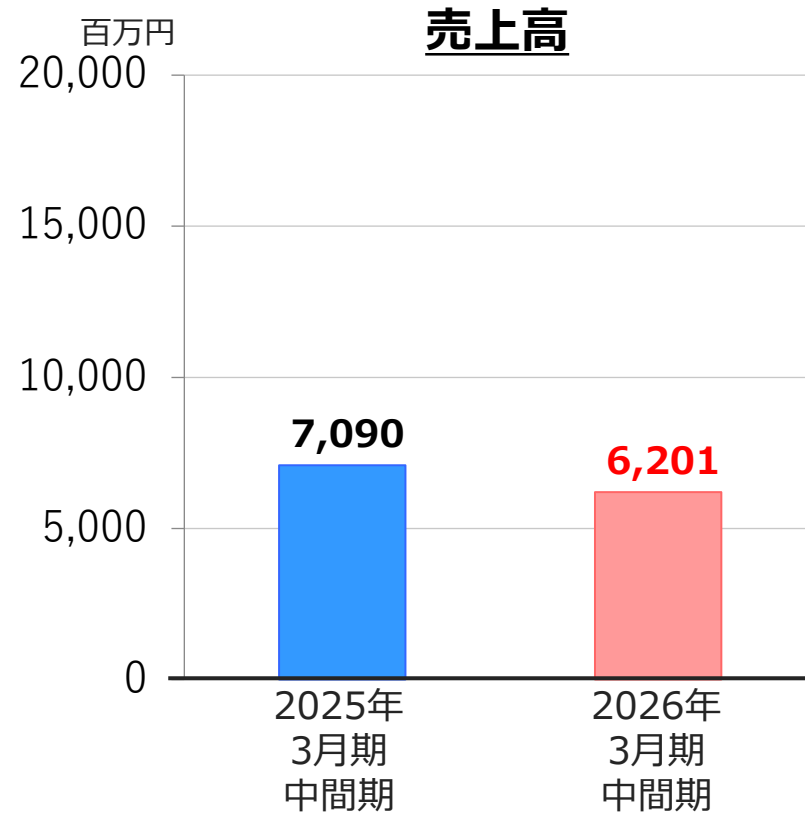
- ・粗利益率の改善
- ・販管費の削減

(2) 映像 & I T 事業セグメントの損益



- ・ 主な海外事業
Pacific Tech Pte. Ltd. (サイバーセキュリティ製品の卸売)
現地パートナー企業や顧客へのサポート体制の強化などにより堅調な売上高と収益を継続
ESCO Pte. Ltd. (オフィス機器、AVシステムの販売)
グローバル企業向けオフィス設置事業において取引先企業の設備投資計画延期の影響を受け、業績が計画を下回る
- ・ 教育市場 (電子黒板、書画カメラ等) : 国内 GIGAスクール構想第2期の開始により、既存機器の更新需要が高まり、販売が堅調に推移

(3) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・ F A 事業関連機器：①国内 中国経済の減速や設備投資意欲の低下などの影響により生産量は前期から引き続き減少
高付加価値製品へのシフトを加速したことにより、粗利益率が大きく向上
- ②中国 経済の減速や需要の低迷が継続
経費削減や効率化を一層推進し、コスト競争力の強化を図る

(4) 2026年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	2025年 3月期	2026年 3月期 中間期	増減
流動資産	28,260	26,079	△ 2,181
固定資産	9,136	8,503	△ 632
資産合計	37,397	34,583	△ 2,813
流動負債	22,560	20,049	△ 2,511
固定負債	4,738	4,751	+ 13
負債合計	27,298	24,800	△ 2,498
株主資本	7,386	7,592	+ 206
その他の包括利益合計額	2,702	2,190	△ 511
純資産合計	10,098	9,782	△ 315
負債純資産合計	37,397	34,583	△ 2,813
自己資本比率	27.0%	28.3%	+1.3pt

流動資産

- ・現金及び預金 : +1,507百万円
- ・受取手形及び売掛金 : △3,432百万円
- ・電子記録債権 : △34百万円
- ・商品及び製品 : +501百万円
- ・仕掛品 : +261百万円
- ・原材料及び貯蔵品 : △129百万円

固定資産

- ・有形固定資産 : △149百万円
- ・無形固定資産 : △148百万円
- ・投資その他の資産 : △334百万円

流動負債

- ・支払手形及び買掛金 : △1,798百万円
- ・短期借入金 : △467百万円
- ・一年以内返済予定
の長期借入金 : △127百万円

固定負債

- ・長期借入金 : +33百万円

純資産

- ・利益剰余金 : +215百万円
- ・為替換算調整勘定 : △513百万円

2. 2026年3月期（第16期）通期業績予想

(1) 2026年3月期 業績予想（前期比較）

単位：百万円

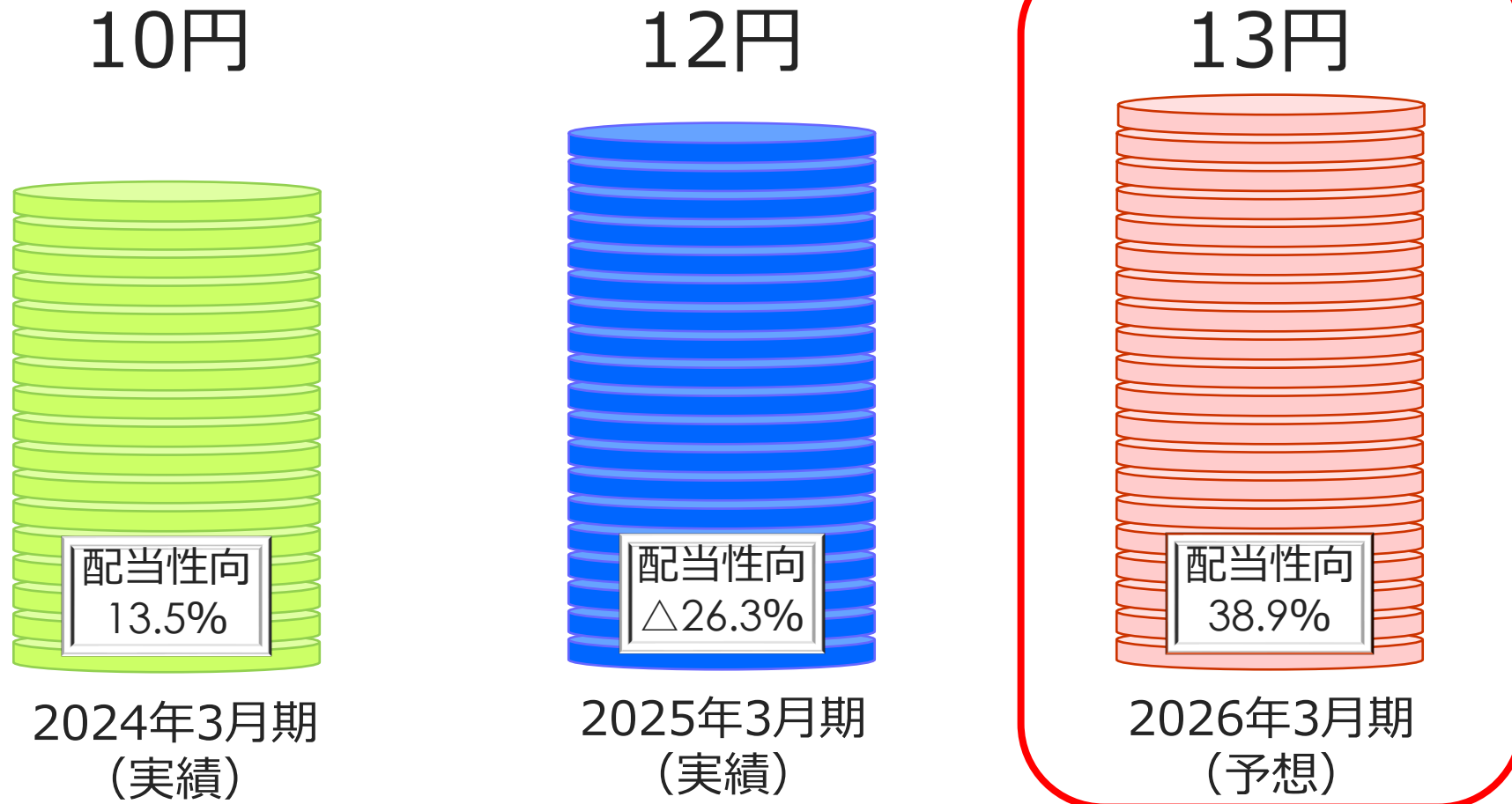
	2025年 3月期 (実績)	2026年 3月期 (予想)	増減	増減率
売上高	50,624	53,000	+ 2,376	4.7%
営業利益	373	1,200	+ 827	221.2%
経常利益	350	950	+ 600	171.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△ 616	450	+ 1,066	—

着実な成長増収要因

- ・ 買収先企業とのシナジー追求
- ・ 既存事業の底上げ

(2) 2026年3月期 配当予想

年間配当予想：年間 **1株あたり13円**



3. トピックス

(1) 私たちが目指すもの



テクノホライゾン株式会社

私たちが掲げるミッションと目指すべき未来

- グローバルな人と社会に貢献すること、すなわち、映像&ITとロボティクスが生み出す、人と技術が共に生きる未来。そしてその先にある、「人々が安心して学び、働き、そして暮らしていける、持続可能な社会」の実現です。従来の「教育」「安全・生活」「医療」「FA」といった事業領域の枠組みを、少し形をかえて、「**教育ICT**」「**企業・自治体DX**」「**FAロボット**」「**ビジョンシステム**」に組み替えました。

■「教育ICT」では

多様な子どもたち一人ひとりに合わせた学びが求められる中、ICT機器や学習支援システムを通じて、教育現場の質の向上を支援し、未来の人材育成を支えています。

■「企業・自治体DX」では

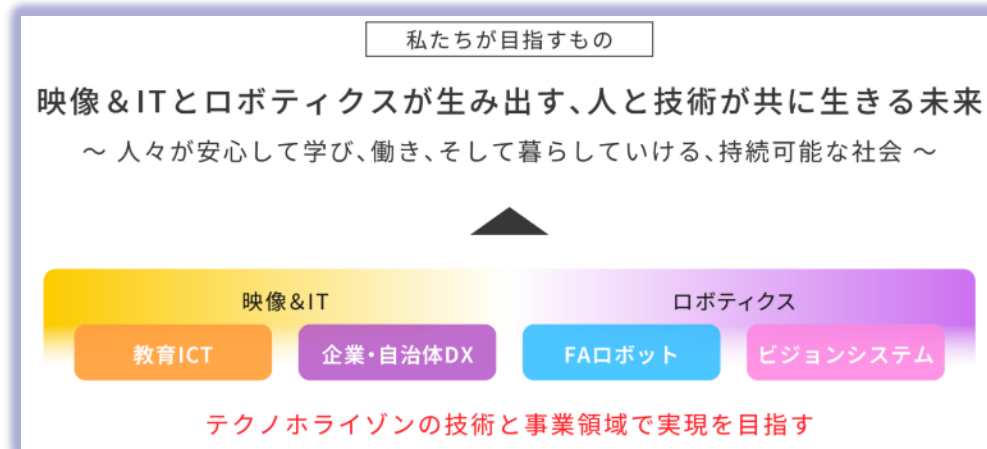
仕事の価値を高め、効率的かつ安全な運営や、サービスのクオリティ向上に貢献しています。

■「FAロボット」が活躍する製造現場では

高い品質と生産性の両立が求められ、精密制御や検査技術を活用することで、課題解決に取り組んでいます。

■「ビジョンシステム」分野では

人の目では捉えきれない情報を映像技術とAIで可視化し、迅速かつ正確な判断を支援することで、より良い社会インフラを支えています。



(2) テクノホライゾンの動き



株式会社MeTaの株式取得（子会社化）

- 株式会社MeTaの全株式を2025年10月3日に取得し子会社化しました。

1. 株式取得の目的

MeTaは、宮城県仙台市を拠点に中学生・高校生・再受験生を対象とした「数学特化」オンライン進学塾を運営しております。当社はELMOブランドで教育現場を中心に書画カメラや電子黒板等のICT機器を展開し、学びの環境づくりを支援してまいりました。MeTaが当社グループに仲間入りし、各社が教育事業で培ったノウハウやリソースを基に、更なるサービスを充実させることが可能になると期待しております。

2. 対象会社の概要

(1) 名称	株式会社MeTa
(2) 所在地	宮城県仙台市青葉区国分町 1-4-9
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 春日 幹雄
(4) 事業内容	高校生・再受験生を対象とした「数学特化」オンライン進学塾・予備校の運営
(5) 資本金	1百万円
(6) 設立年月日	2020年4月1日
(7) 大株主及び持株比率	春日 幹雄 (100.0%)

3. シナジー

【教育事業の強化】

・教育市場への参入と成長余地
教育投資は堅調であり、中学・高校受験等への関心が高い。数学に特化しており大手総合塾とは競合せず、独自のポジションを確保することが可能です。

・学習塾の運営

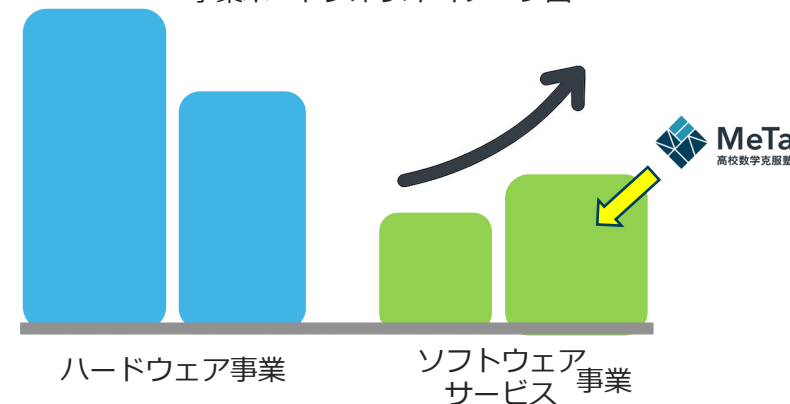
連結子会社であるアドワーでは、これまで学習塾の運営を行っており、双方の持つノウハウを共有することで更なる成長を図ります。

・外部環境リスクの分散

テクノホライゾングループはハードウェア事業が中心であり、景気変動の影響を受けにくい教育サービスを展開することで、事業ポートフォリオの安定化に寄与します。



「事業ポートフォリオ イメージ図」



(3) 製品・サービス情報



Adwaa

「SILKYPIX Developer Studio Pro12 パッケージ版 (Windows)」発売

- 高画質RAW現像ソフト「SILKYPIX Developer Studio」のシリーズ最新版となる「SILKYPIX Developer Studio Pro12 パッケージ版」を2025年7月10日に発売しました。

本製品では、改良された操作画面がより見やすく、わかりやすくなり、初めて写真編集をおこなう方にも最適です。柔らかな雰囲気を作り出す「ソフト」の追加、効果がさらに向上した「かすみ除去」、高解像度かつリアルカラーを実現する「ピクセルシフト撮影 RAW 合成」など、新機能も充実し、写真の現像・編集の可能性がさらに広がりました。



本体価格：24,400 円 (税込 26,840 円)

SILKYPIX



テクノホライゾン株式会社



どこでもピタ！っとWEBカメラ「EX-1」 発売

- 今や街中に溢れている高性能なカメラたちの隙間を縫って、教室に・オフィスにピタ！っと、なんだかちょうどいいカメラ「EX-1」を2025年7月16日に発売しました。

「EX-1」の製品コンセプトは「どこでもピタ！っと」。映像を介したコミュニケーションをするなかでふと頭をよぎる「ここにカメラがあったらいいのに」「こんなカメラがあったらいいのに」という思いにピタ！っと寄り添うWEBカメラです。コンパクトなサイズ・様々なICT機器との高い連携性で設置場所を選ばず、使い方は自由自在。シンプルな操作感で子どもから大人まで誰でもすぐに使いこなせます。



メーカー希望小売価格：オープン価格

(3) 製品・サービス情報

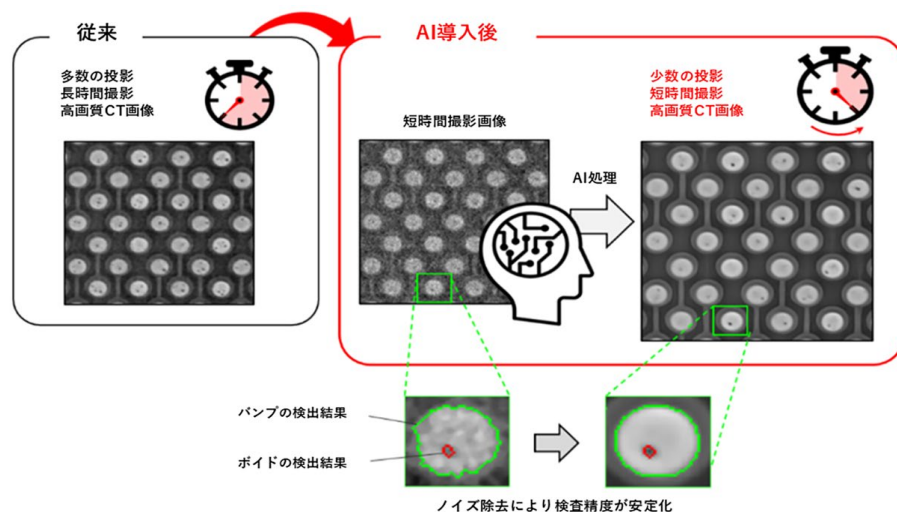


TIETECH

X線検査装置に検査時間短縮AI機能を新搭載

- X線検査装置 TI-X シリーズにAI 技術を駆使した高速検査機能をオプション搭載し2025年8月より提供を開始しました。

製造業における X 線 CT 検査では、精密な画像品質を確保するために長時間の撮影プロセスが不可欠とされてきました。新開発の AI 機能は、従来必要とされていた長時間撮影を大幅に短縮しながら、検査に必要な画像品質を維持する先進技術です。AI による高度なノイズ処理技術により、短縮された撮影時間でも安定した検査精度での AI 自動検査を実現します。



X線検査装置TI-Xシリーズ

(4) 海外子会社情報



ESCO Pte. Ltd. グループ受賞

①ESCO Pte. Ltd. がQ-SYSプラチナパートナー賞を受賞しました。

・ Q-SYS Platinum Partner Award



②ESCO Pte. Ltd. Philippinesが、CrayonからZoomパートナー・オブ・ザ・イヤーを受賞しました。

・ Zoom Partner of the Year



③ESCO Pte. Ltd. Philippinesが、Boseからインストールサウンドのトップシステムインテグレーターを受賞しました。

・ Top System Integrator for Installed Sound

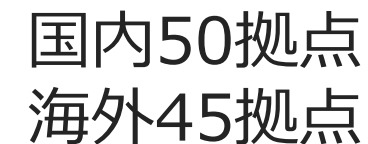


Pacific Tech Pte. Ltd.受賞

①Pacific Techは、Keysight Technologies と提携し、Keysight Technologies APAC Partner Summit 2025で最高の評価であるグランプリ賞を受賞しました。

・ Grand Prix Award of the year





多様性に満ちた人材で
グローバルなニーズに応える

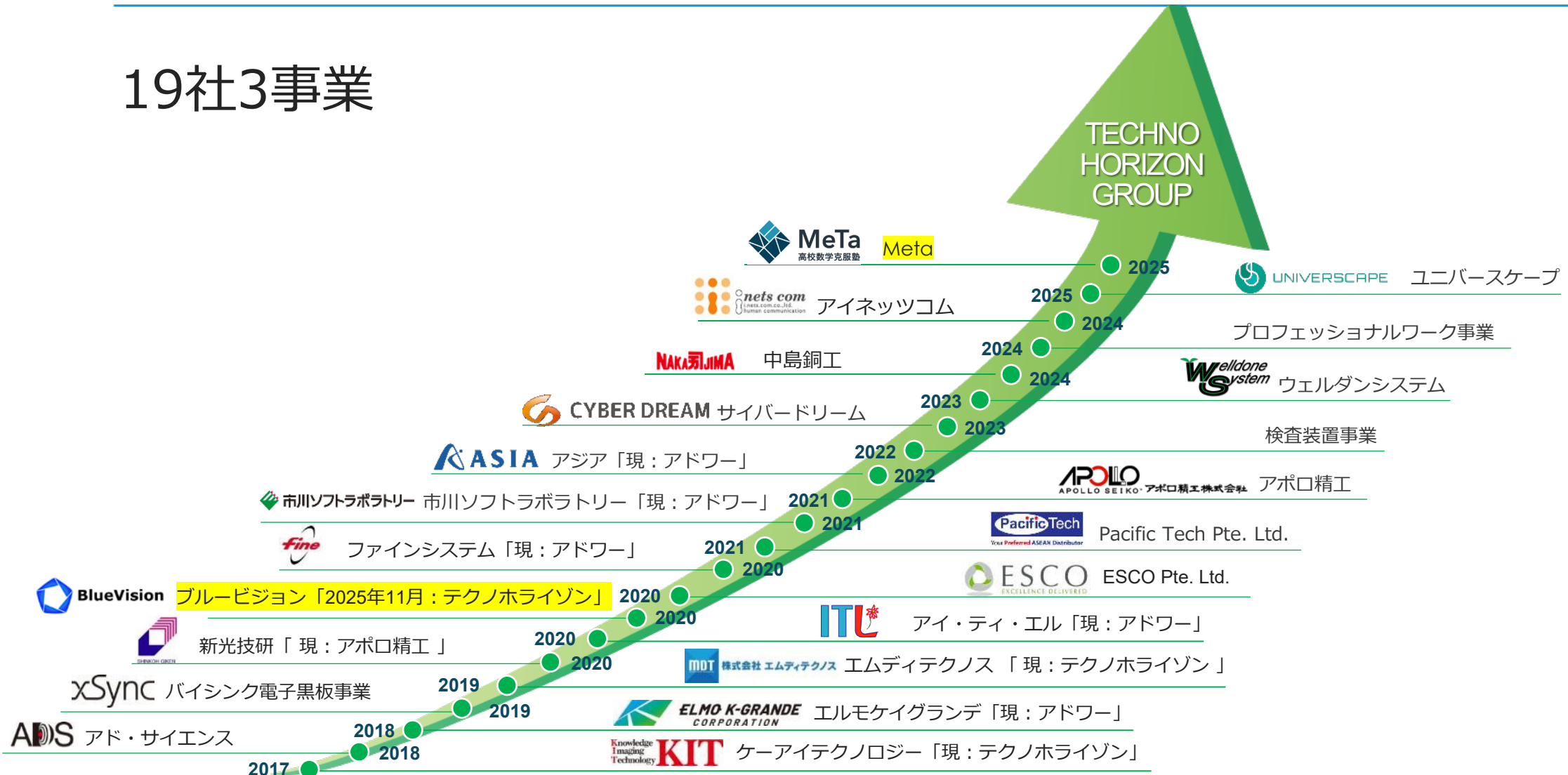


課題感

- ★ 人材確保・育成
- ★ コーポレート・ガバナンス

(6) グローバル化を加速

19社3事業



将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

I R担当窓口

■役職： 取締役

■氏名： 加藤 靖博

■電話： 052-823-8551

■FAX： 052-823-8560

■E-mail： info@th-grp.jp

グループ社は

風に向かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風
嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波
上昇気流に乗り優雅に舞う蝶
アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い
状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス
授かった希望
未来へ羽ばたく風をつかめ

TECHNO HORIZON

IMAGING & IT × ROBOTICS

ELMO

TIETECH

APOLLO
APOLLO SEIKO

TECHNO HORIZON GROUP

ADS



BlueVision



ESCO
EXCELLENCE DELIVERED

Pacific Tech

APOLLO
APOLLO SEIKO

Adwaa



CYBER DREAM

Weldone
system

NAKAJIMA

nets.com
i.nets.com.co.,ltd.
human communication



UNIVERSCAPE